



早期発注の取り組み

平成21年2月27日

国土交通省 中国地方整備局

21年度予算 景気・雇用関連経費

上期に9割前倒し検討

政府・与党は24日、急速な景気悪化を受けて、平成21年度予算の景気・雇用対策に関連する経費の約9割を年度上期（4～9月）に前倒し執行する方向で検討に入った。政府・与党内では新たな追加経済対策の策定に向けた準備を進めており、本予算の前倒し執行に取組むことで景気下支えや雇用創出に対する効果を高めるのが狙いだ。

平成21年2月25日
産経新聞

案に関し、政府・与党は公共事業や雇用対策などの施策執行を21年度上期に集中させる。年度下期については同年度補正予算として見込まれる追加経済対策を視野に入れ、改めて景気対策拡充を図る方向だ。

また、同日開かれた与党の景気・雇用創出プロジェクトチームの第2回会合では、地方活性化策事業について、地方負担を極力減らす形で景気対策や雇用創出を目指すことで一致し、具体的な国の費用負担の仕組みを検討する。財政状況の厳しい地方自治体の費用負担を軽減して、事業案も地方からの提案を受け入れる。

公共事業9割

上半期発注へ

与党の景気PIT

与党の「景気・雇用創出プロジェクトチーム（PIT）」（佐田玄一郎座長）は二十四日、景気対策や雇用創出に向け、二〇〇九年度の上半期に公共事業の九割を発注する方針を決めた。

平成21年2月25日
東京新聞

PITでは、国発注の公共事業も一定割合を関係自治体が負担する現行制度について、地方負担を軽減する方針を検討する。

■中国地方整備局における早期発注に関する取り組み

1. 予算の確保

○入札契約手続き（公告）の前倒し

* 公告や入札説明書に「予算成立・示達を条件とする」旨を記載

2. 調査設計・発注準備の前倒し

○関係機関協議の早期対応

* 協議対応の迅速化に関する依頼文書の発送及び上部機関への働きかけ

3. 発注方式、発注内容の工夫

○柔軟な発注ロットの設定

* 地元企業へ配慮しつつ、ロットの拡大を図る

○詳細設計付き工事発注及び概数発注

* 電線共同溝や道路設計が完了しているが、BOX・擁壁等の構造物の詳細設計が未了の工事を対象として実施。

* 橋梁上・下部工など予備設計ベースで積算を実施し詳細設計費を計上

4. 入札契約手続きの迅速化

○別紙（P 3, 4）

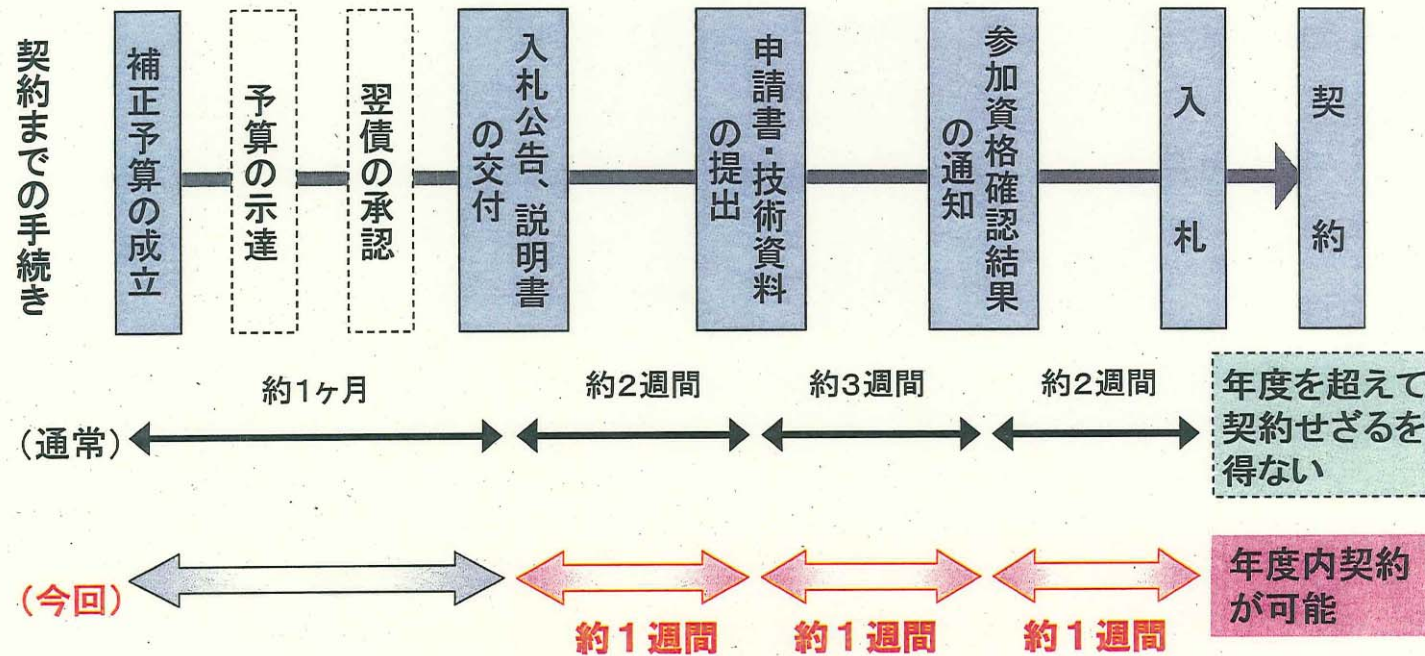
5. その他

○組織の体制

* 本官工事審査を河川・道路の両工事課が協力して実施

早期発注のための取り組み

- 2次補正予算対象工事(今後発注する1次補正予算対象工事も含めて)について、
- ① 工事实績を重視した総合評価による提出資料の簡素化、
 - ② 概算数量発注等の積極的活用(受発注者双方の事務量の軽減) 等
- による入札契約手続きの迅速化、
- ③ 翌債申請の事前調整等、予算執行手続きの迅速化 を図る。



総合評価方式における提出資料の簡素化

最低限の公共工事の品質確保を図りつつ早期発注を行うため、受発注者双方の作業時間を短縮を可能とするよう、工事实績を重視した総合評価方式を導入。
発注にあたっては概算発注又は詳細設計付工事発注を活用し、さらなる早期発注を推進。

通常の総合評価方式（簡易型）の評価項目

- 加算点上限は30点
- 簡易な施工計画
例：コンクリートの品質の確認方法の適切性
- 配置予定技術者の能力（ヒアリング）
例：当該工事の施工上の課題等の理解度
- 配置予定技術者の能力
例：主任技術者の工事成績評定の平均点
- 企業の施工能力
例：企業の工事成績評定の平均点
- 企業の手持ち工事量
- 地理的条件
例：地域内における本支店・営業所の所在
- 地域貢献の実績
例：災害協定等に基づく活動実績の有無
- その他



工事实績を重視した総合評価方式の評価項目

- 加算点上限は30点
- 簡易な施工計画
例：コンクリートの品質の確認方法の適切性
- 配置予定技術者の能力（ヒアリング）
例：当該工事の施工上の課題等の理解度
- 配置予定技術者の能力
例：主任技術者の工事成績評定の平均点
- 企業の施工能力
例：企業の工事成績評定の平均点
- 企業の手持ち工事量
- 地理的条件
例：地域内における本支店・営業所の所在
- 地域貢献の実績
例：災害協定等に基づく活動実績の有無
- その他

⇒省略

⇒企業や
技術者の
施工能力
等を評価